

学校連盟通信

発行

日本社会事業学校連盟
事務局
〒150 東京都渋谷区
神宮前1-4-19
日本社会事業大学内
1982・6・25
第 2 号

一九八二年度

日本社会事業学校連盟 第一回全国理事会報告

一、日時 一九八二年五月十四日(金)
午後五時〜八時三〇分

一、場所 水交会
会 長 平 田 富太郎
(日本社会事業大学)

副 会 長 三 和 治
(明治学院大学)

服 部 正
(大阪府立大学)

理 事 永 田 勝 彦
(北星学園大学)

米 地 実
(日本女子大学)

高 橋 種 昭
(淑徳短期大学)

大 塚 達 雄
(同志社大学)

宮 崎 俊 策

国際関係委員 仲 村 優 一
(日本社会事業大学)

福 田 垂 穂
(明治学院大学)

小 島 蓉 子
(日本女子大学)

前 田 ケ イ
(日本ルーテル神学大学)

組織委員会 秋 山 智 久
(明治学院大学)

事務局 板 山 賢 治
(日本社会事業大学)

石 井 哲 夫
(日本社会事業大学)

大 橋 謙 策
(日本社会事業大学)

記 録 及 川
— 以上計一七名 敬称略 —

議事にさきたち平田会長のあいさつの後、会
長の司会により議事進行。

議 事

(1)東北アジアセミナーの件

国際関係委員福田先生(組織委員長)より、
海外および日本の参加者について資料提出説
明があり、資料以外(プログラム等詳細は各校
に送付済)の説明および決定事項については、
下記のとおりである。

一、予定より参加人数が増え、会場等オーバ
ーしたため近隣のホテルを確保。

一、海外参加者の「身元引受人」の件について
組織委員会(実質的には福田先生)にお
まかせする。

一、日本の役割分担について
大橋先生より、「第四回 東北アジアセ
ミナー担当者(案)」を提出、これを承認
された。(資料①参照)

○六月末までにドラフトを紹介・郵送
する。

○各国より二名づつディスカッサント
を選出。

(日本の担当候補者)

北星学園大学 松井二郎 先生
同志社大学 岡本民夫 先生

※ ご出席いただいた各大学の先生方より願

いしていただくが、事務局より各担当者宛に依頼文を送付する。

一、厚生大臣および厚生省関係者をご招待してはどうかという意見が出され、これについては早速に検討する。

一、会長招待レセプションおよび報告書作成等に関する予算について検討する必要がある。

セミナーの名称は「東北アジアセミナー」で一する

(2) 社会福祉教育セミナーの件

大橋先生より、「社会福祉教育セミナープログラム(案)」を提出、説明があり(資料②参照)このテーマについて社会福祉研修所の問題ととりあげる必要があるかどうか、これまでのテーマとの関わり、「社会福祉教育セミナー(一覽)資料③参照」等について多くの意見が出され、これらの先生方の意見を考慮した上、仲村先生にまとめをお願いし(仲村先生「テーマ」下記参照)、事務レベルで原案を作成、在京理事会に提出、決定することです承された。

なお、他の日程等原案どおり了承されたが、会場については都内会場使用料が高いため、早速に先生方にご協力・検討をお願いすることとした。



社会福祉教育セミナーテーマ

— 仲村 優一案

昭和五十七年度社会福祉教育セミナーのテーマは「社会福祉教育の実践と卒後教育」とする。

△テーマ設定のねらい▽

本セミナーでは、過去四年、四回にわたり「社会福祉教育の実践と課題」なるテーマのもとに、社会福祉教育が何を意図してどのような教育実践を行なってきたか、それに対する社会福祉の現場(社会福祉施設・機関・行政、現業の管理者層、指導員層、第一線の現業ワーカー等)からの期待と現実のギャップ、そこに提起される課題とどう取り組むかを討議してきた。外側の意見を聞くことかなりのウェイトをおいたこれまでの討議の結果をふまえて本年のセミナーでは、社会福祉教育の内部に眼を向け、われわれは、いかなる内容の教育を行ない、学生をどのように社会福祉に動機づけて現場に送り出すか、そして、送り出した卒業者の卒後教育に大学・学校はどのような役割を担うべきかを検討する。

検討課題として次のような討議の柱が考えられる。

- ① 社会福祉現場の要請と社会福祉教育
- ② 現代の学生像と社会福祉教育
- ③ 学生を社会福祉にどのようにして動機づけるか
- ④ 卒業生に対し社会福祉の大学・学校は何をするか
- ⑤ 社会福祉教育と社会福祉研修

(3) 会費値上げの件

大橋事務局長より、「昭和五十八年度 予算案」(資料④参照)を提出、諸事情により、来年度会費を二万四千円値上げしたい(これでもなおかつ赤字予算)旨の提案説明があり、(資料参照)⑤「会費値上げの件資料」⑥「値上げ審議の際の留意事項」、これを了承された。

なお、予算原案どおり赤字予算にて、各加盟校に通知をすることはやむをえず、赤字分については今後検討するという事で承認された。

〔検討事項〕

海外で行われる場合のセミナーへの日本からの参加が決定的に少く、今回日本で行われるセミナーへ海外から多くの積極的参加があること等考えると、予算を組んで援助・参加していただく方法を考える必要がある。

(4) その他

イ. 学校連盟通信について

第一号通信を各加盟校に送付したが、専攻学部・学科の先生方には全員届くようにしたいので、事務局まで連絡をお願いしたい。

ロ. 加盟校名簿作成について

すでに送付ご依頼をしてあるが(大学名については英文名も記入)できあがった名簿はできるだけ個人個人にお渡しできるようにしたい。

ハ. 理事会開催について

全国理事会をたびたび開催することは会

計上難いので一回ないし二回開催するにとどめ、あとは在京理事会にて(ただし、全国理事会で確認された事項についてのみ話し合いを行う)ことで、了承された。
 なお、規約上「在京理事会」について明記されていないので、今後規約改正について検討する。

二、富士記念財団研究助成金について

すでに各加盟校に資料を送付してあるが、各校とりまとめ、六月末までに事務局へ申込のこと。

~~~~~以下資料~~~~~

第四回

東北アジアセミナー担当者案

(資料①)

一、Country paper の件

日本社会事業大学で引き受ける。

仲村、石井、小松、古川、京極、大橋で担当。

二、総会代表は仲村先生

三、分科会座長

- (1) 社会福祉学概論 岡田 藤太郎先生
  - (2) 社会福祉実践 武田 建先生
  - (3) 社会福祉政策 宮野 誠 保先生
  - (4) 社会福祉調査 未 定
  - (5) 社会福祉実習 前出ケイ先生
- ※記録係は座長の先生方のご指名ではどうか(理事会後、担当者若干の変更がありました)したので、ご了承下さい)

社会福祉教育セミナー

プログラム案

(資料②)

- 一、日程 十一月二十七日(土)～二十八日(日)
- 二、会場 東京都区内(会場費等については別紙参照)
- 三、テーマ

(第一案)

「社会福祉研修所の現状と社会福祉教育」

- 実態報告——社会福祉研修所の現状(全社協研修センター)
- シンポジウム(11月27日午後)

登壇者(大学での養成と研修

所)大学通信教育

(採用と研修)国県

(研修の立場)研修所

○ 分散会(11月28日午前)

○ 特別分科会「現代の学生像と社会福祉教育」

発題者

(第二案)

「近接領域の教育体系および実習と社会福祉教育との関連」

- 看護教育の立場から——千葉大看護学部
- 保健婦養成の——大阪保健婦養成所
- 社会福祉教育の——上智大教員養成の——
- 保母養成の——

社会福祉教育セミナー・テーマ一覧

(資料③)

| 回数  | テーマ                                                            |
|-----|----------------------------------------------------------------|
| 第一回 | 社会福祉教育の現状と問題点                                                  |
| 第二回 | (第一分科会)社会福祉教育における専門性と大学における専門教育のあり方<br>(第二分科会)社会福祉教育における実習のあり方 |
| 第三回 | 社会福祉の理論と教育                                                     |
| 第四回 | 社会福祉教育における保母教育の位置づけ                                            |
| 第五回 | 社会福祉教育の新しい展望<br>——カリキュラムはこれでよいか——                              |
| 第六回 | 今日の社会状況に社会福祉教育はいかにこたえるか                                        |
| 第七回 | 社会福祉教育における日本の特性を考える                                            |
| 第八回 | 社会福祉教育の実践と課題                                                   |
| 第九回 | 〃                                                              |
| 第十回 | 〃                                                              |



58 年度 予算素案 (資料④)

|         |                    |
|---------|--------------------|
| (収入)    |                    |
| 繰越金     | 0円                 |
| 会費      | 3,680,000円(46校×8万) |
| 雑収入     | 1,000円             |
| 計       | 3,681,000円         |
| (支出)    |                    |
| 総会費     | 100,000円           |
| セミナー負担金 | 250,000円           |
| 年報出版金   | 500,000円           |
| 理事会費    | 700,000円           |
| 事務局費    | 700,000円           |
| 地区活動費   | 150,000円           |
| 国際委費    | 120,000円           |
| 国際会議費   | 100,000円           |
| 国際連盟費   | 1,330,000円         |
| ARASWE  |                    |
| 予備費     | 0 〇                |
| 計       | 3,950,000円         |
| 差引き     | -269,000円          |

会費値上げの件資料 (資料⑤)

|             |                     |
|-------------|---------------------|
| < 57 年度予算 > |                     |
| (収入)        |                     |
| 繰越金         | 700,000円(金額未定)      |
| 会費          | 2,760,000円(46校×6万)  |
| 雑収入         | 900,000円(出版積立金取り崩し) |
| 計           | 4,360,000円          |
| (支出)        |                     |
| 総会費         | 50,000円             |
| セミナー負担金     | 250,000円            |
| 年報出版費       | 400,000円            |
| 理事会費        | 700,000円            |
| 事務局費        | 700,000円            |
| 地区活動費       | 150,000円            |
| 国際委費        | 100,000円            |
| 国際会議費       | 100,000円            |
| 予備費         | 250,000円            |
| 東北アジア       | 300,000円(今年度限り)     |
| 国際連盟費       | 1,324,800円          |
| ARASWE      | 1,324,800円          |
| 計           | 4,324,800円          |

値上げ審議の際の留意事項 (資料⑥)

- (1) 五十八年度への繰り越し金が〇円になる。予備費を使わないように節約したとしても、二十五万円にしかならない。但し、今年度は予備費から名簿作成費を出さなければならぬ。
- (2) 出版積立金九〇万円を取り崩している。今後出版積立金を積み立てるかどうか。
- (3) 社大では、事務局担当を専任職員でまかっている。人件費が浮いているにすぎない。人件費・電話代・封筒代等を連盟独自で負担するとしたら、郵便代値上げ等もあり、事務局費を値上げせざるをえない。
- (4) 総会費が五万円では場所代、資料代等足りない。民間施設(半公共的)等の一日会場使用料は二〇万円以上かかる。
- (5) 但し、東北アジアセミナーへの補助金三〇万円は今年度限りで、来年度はなくなる。



## ヤングハズバンド女史の逝去を悼む

世界の社会福祉教育の最高の指導者として尊敬の的であった英国のアイリーン・レックヤングハズバンド女史が、1981年5月27日、旅先の米国ノースカロライナ州で交通事故のため急逝されたことは、国際社会事業学校連盟(IASSW)から昨秋加盟校に伝えられ、私どもに大きな衝撃を与えました。同女史は、いわゆる「ヤングハズバンド報告」(1959年)で英国の専門社会事業教育と専門職制度についての方向づけを行い、今日の英国のソーシャル・ワーカー制度の基礎を作りました。また関連の第三回社会事業教育調査(1959年)は同女史の助言指導によってまとめられ、世界の社会事業教育にとっての指針となりました。

ヤングハズバンド報告の勧告にもとづいて、1961年に設立された「全国ソーシャル・ワーク研修所」は、今日英国で最も権威のある最高の研修機関となっています。IASSWの会長を勤められ、永世名誉会長でした。76歳の時に、750頁をこえる大著「Social Work in Britain: 1950~1975」(George Allen & Unwin, 1978.)をまとめ上梓されました。その奥行き深い学識、巧まざるユーモア(\*dry humour\*と表わした人がいます)、一度会った人は誰でも忘れることのできない人間的な温か味、本当に傑出したひとりのリーダーを失ったことは、惜しみても余りあることです。心からご冥福を祈ります。

(仲村 優一)



<資料> 上記研修所の本年から来年にかけてのプログラムです。

## NATIONAL INSTITUTE FOR SOCIAL WORK OPPORTUNITIES FOR ADVANCED STUDIES IN BRITAIN

1. SOCIAL WORK PRACTICE AND MANAGEMENT, 1981  
Sandwich Course: Management and Practice in the Personal Social Services
2. PROGRAMME OF ADVANCED STUDY IN COMMUNITY WORK, 1982/83
3. COURSE IN SOCIAL WORK EDUCATION, 1982/83

This course begins in October, 1982, and lasts for two academic terms. Designed both for tutors in schools of social work and for fieldwork practice teachers in all social work settings (including probation), the course aims to develop knowledge and skill in teaching methods and curriculum planning. A period of practice is an essential element of the course, which is approved by CCETSW as a course of post-qualifying study.

Course fee: To be negotiated. Current fee: £2,340

4. INDIVIDUALLY NEGOTIATED PROGRAMMES OF ADVANCED STUDY

These programmes are specially planned and prepared for individual applicants seeking an opportunity to undertake a particular study, proposed by themselves, of a topic within the general fields of social work practice, management or education. Arrangements can be made to start an individual study programme at the beginning of any academic term (October, January or May), and the length of each programme can be adjusted to suit the needs of the applicant. Applicants should preferably be qualified in social work or community work and experienced in their particular field, and must be capable of studying to a considerable extent on their own — though ample tutorial and reading guidance will be provided, and seminars with other students at the Institute organised whenever this is feasible and relevant.

Because of their flexibility, these programmes are particularly well suited to applicants from overseas.

Information about fees will be given on request.

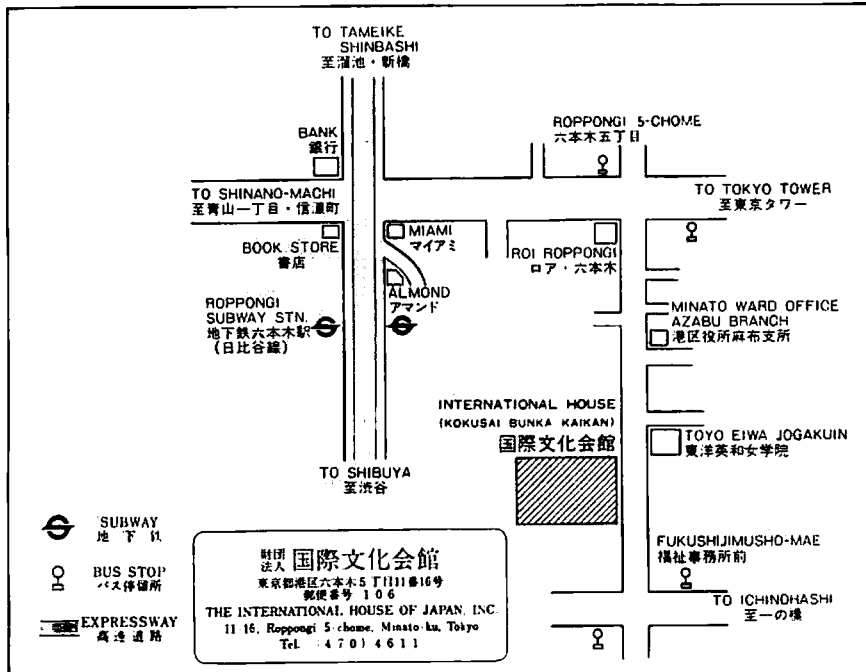
Further details from: Diana Broad, National Institute for Social Work, Mary Ward House, 5 Tavistock Place, London, WC1H 9SS.

講演会のご案内

米国テネシー大学教授 平山尚博士が来日(一時帰国)される機会に、次の通り講演会を開催いたしますので、ふるってご参加下さい。

演 題 日 時  
場 所

一九八二年七月七日(水)  
午後六時半～八時半  
国際文化会館(下図の通り)  
「レーガン政権下の社会福祉政策」(参加費 無料)  
日本社会事業学校連盟国際委員会



ROUTE

From Tokyo Station, Sukiyabashi & Shinbashi  
Bus No. 東82 (for Todoroki via Iigura)  
Get off at Roppongi 5-chome, 5 min. walk  
From Shibuya  
Bus No. 東82 (for Tokyo Station via Iigura)  
Bus No. 横88 (for Tokyo Tower)  
Get off at Roppongi 5-chome, 5 min. walk  
From Shinano-machi & Aoyama 1-chome  
Bus No. 田70 (for Tamachi Station)  
Get off at Fukushijimusho-mae, 3 min. walk  
By Subway  
Hibiya Line  
Get off at Roppongi, 10 min. walk

(順路)

☆東京駅八重洲口、数寄屋橋、新橋より  
飯倉通り等々力行バス(東82)にて六本木五丁目下車  
徒歩5分  
☆渋谷より  
飯倉通り東京駅八重洲口行バス(東82)東京タワー行  
バス(横88)いずれも六本木五丁目下車 徒歩5分  
☆信濃町、青山一丁目より  
田町駅行バス(田70) 港福祉事務所前下車 徒歩3分  
☆地下鉄日比谷線  
六本木駅下車 徒歩10分

※ 参加ご希望の方は、すでに各校に送付してありますハガキにてお申し込み下さい。

日本社会事業学校連盟連絡先

住所 東京都渋谷区神宮前一丁目四一九  
〒150 日本社会事業大学  
学校連盟事務局  
大橋・及川

電話 〇三(四〇二)七五〇七〜九  
会費振込先  
(口座名) 第一勧業銀行原宿支店  
日本社会事業学校連盟事務局  
(口座番号) 一六六一〇五八四二七  
会費 五十七年度  
年額六〇,〇〇〇円

SSS 題字は平田富太郎会長筆 SSS

△会費納入についてお願い▽  
すでに納入期限が過ぎておりますが、まだ納入されていない場合は、早急に(6月末日まで)左記へお振り込み下さいませようお願いいたします。  
なお、やもうえない事情にて、納入が遅れるようでしたら、事務局までご連絡をお願いいたします。